

このたびは、山崎範夫のミシンをお買い上げいただき、ありがとうございます。
このミシンは、直線縫いやジグザグ縫いはもちろん、ホームソーイングに必要な縫いが簡単にできる家庭用電子ミシンです。このミシンの特長をご理解していただき、正しくお使いいただくために、まずこの「取扱説明書」をよくお読みください。

「取扱説明書」は、保証書と共に大切に保管してください。

山崎範夫のミシン

取扱説明書

型式 AG-002 NHC

このミシンの特長

電子回路により低速でも強力なパワーがありますので厚物がらくらくと縫えます。

縫う速度は低速から高速まで自在に調節できます。

直線縫いはこまかい縫い目からあらい縫い目まで自在に長さが選べます。

針への糸通しが簡単な針穴糸通し器が装備されています。

このミシンで縫える縫い目



直線縫い



ジグザグ縫い



まつり縫い



ボタンホール縫い

ミシン各部の名前

2ページ ~ 3ページ

縫うための準備

4ページ ~ 12ページ

縫ってみる(基本編、実用編)

13ページ ~ 21ページ

お手入れと困ったときは

22ページ ~ 25ページ

取り扱いの注意

このミシンを安全にご使用していただくために、以下のことがらを必ず守ってください。このミシンは日本国内向け、家庭用です。FOR USE IN JAPAN ONLY.

⚠ 警告 死亡、感電、火災の恐れがあります

一般家庭用交流電源 100V(50 / 60Hz)でご使用ください。
ミシンを使用しないとき、ミシン使用中に停電したとき、ミシンのそばを離れるときは電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
お客さまご自身での分解、改造はしないでください。

⚠ 注意 感電、火災、けがなどの原因となります

ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針、はずみ車、天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。
ミシンの操作中は釜カバーは必ず閉めてください。
曲がった針、先の痛んだ針はご使用にならないでください。また、ご使用後の針、不良針の処置には十分注意してください。
縫製中に布を引っ張ったり、押し込んだりしないでください。
お子さまがご使用になるときや、お子さまの近くでご使用になるときは、特に安全に注意してください。

(付属品類はお子さまが口に入れたりしないよう、必ず収納してください)

以下のようなときは、電源スイッチを切ってください。

- ・針、押え、アタッチメント、ランプを交換するとき。
- ・「取扱説明書」に記載のあるミシンの手入れをするとき。
- ・原則として上糸、下糸をセットするとき。

ミシンに以下の異常があるときは、すみやかに使用を停止して電源コードをコンセントから抜き、27ページ記載の「お客様相談係」までご相談ください。

- ・正常に作動しないとき。
- ・落下などにより破損したとき。
- ・水に濡れたとき。
- ・電源コード、プラグ類が破損、劣化したとき。
- ・異常な臭い、音がするとき。

ミシンを不安定な場所で操作すると、落下や転倒する危険があります。

低温の場所から出したときは正常に作動しないことがあります。室内の温度にしばらくなじませてください。

野外や直射日光の当たる場所、湿気の多い場所や寒い場所でのご使用や保管は部品劣化が促進されますのでさけてください。

ミシンの汚れがひどいときは中性洗剤をぬるま湯で薄めて布に浸して堅くしぼったものでふき取ってから別のやわらかい乾いた布で洗剤をふき取ります。

ベンジン、アルコール、シンナーなどは使用すると樹脂部品が破損し機能障害発生の恐れがあるため、ご使用にならないでください。

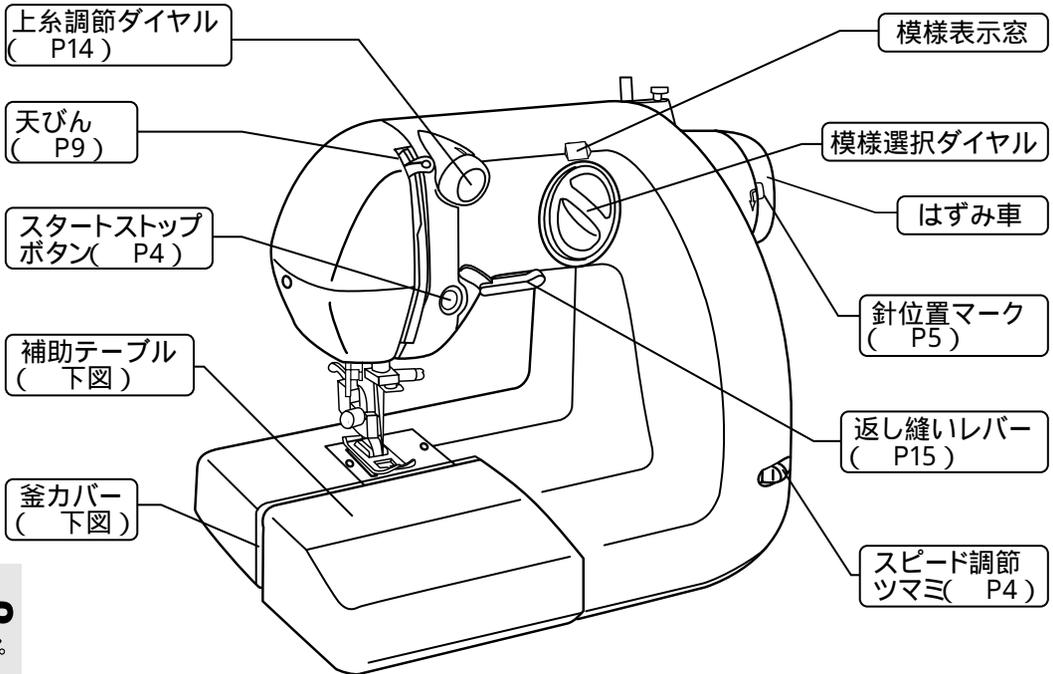
このミシンは常に最新の裁縫性能を提供するために、必要に応じてミシンの外観、デザインおよび付属品を変更することがあります。
箱と梱包材は保存しておいてください。(長期間使用しない時の保管や修理など送付するときに必要です)

目次

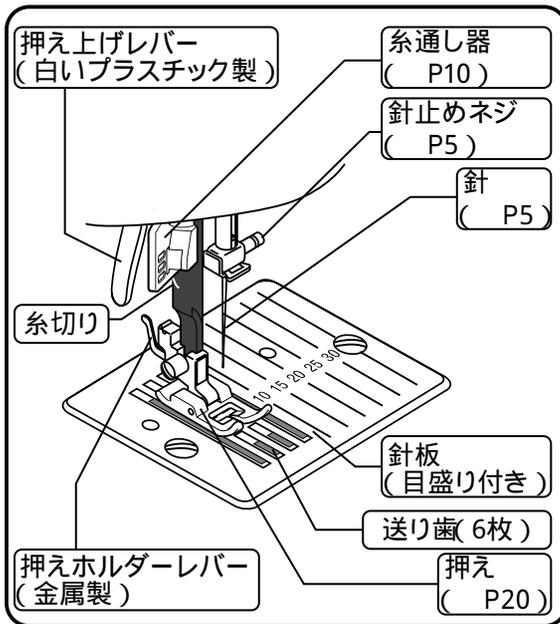
取扱上の注意	はじめに	縫ってみる(実用編)	15 ~ 21
目次	1	直線縫い	15
ミシン各部の名前	2 ~ 3	返し縫い	15
ミシン本体	2 ~ 3	縫い方向のかえかた	16
針と針板周辺部品	2	段縫い	16
補助テーブルの外しかた	2	厚地の縫い始め	16
釜カバーの開きかた	2	ジグザグ縫い	17
付属品	3	点線ジグザグ縫い	18
縫うための準備	4 ~ 12	まつり縫い(ブラインドステッチ)	19
ミシンの設置	4	ボタンホールかがり	20 ~ 21
ミシンの動かしかた	4	押えの交換	20
針と糸と布の関係	5	お手入れ	22 ~ 23
針のとりかえかた	5	釜の掃除と注油	22
ボビンケースの取り出しかた	6	送り歯の掃除	23
糸立て棒の取り付けかた	6	ランプの交換	23
下糸の巻きかた	7	こまったときは	24 ~ 25
ボビンケースにボビンを入れる	8	ミシンの仕様	26
ボビンケースを釜に入れる	8	サービス工場のご案内	26
上糸をかける	9	修理サービス要領	27
針穴糸通し器の使いかた	10	別売フットコントローラーの使いかた	28
下糸を引き出す	11	純正指定部品のご案内	29
模様の紹介	12		
フリーアームの使いかた	12		
縫ってみる(基本編)	13 ~ 14		
ためし縫い	13		
糸調子の確認とあわせかた	14		

ミシン各部の名前

ミシン本体 < 前面 >

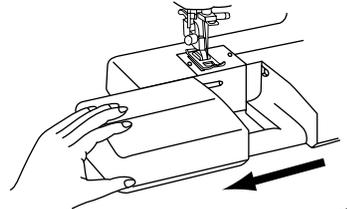


針と針板周辺部品



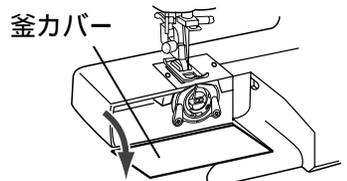
補助テーブルの外しかた

補助テーブルの左端を持って左へ引いてははずします。

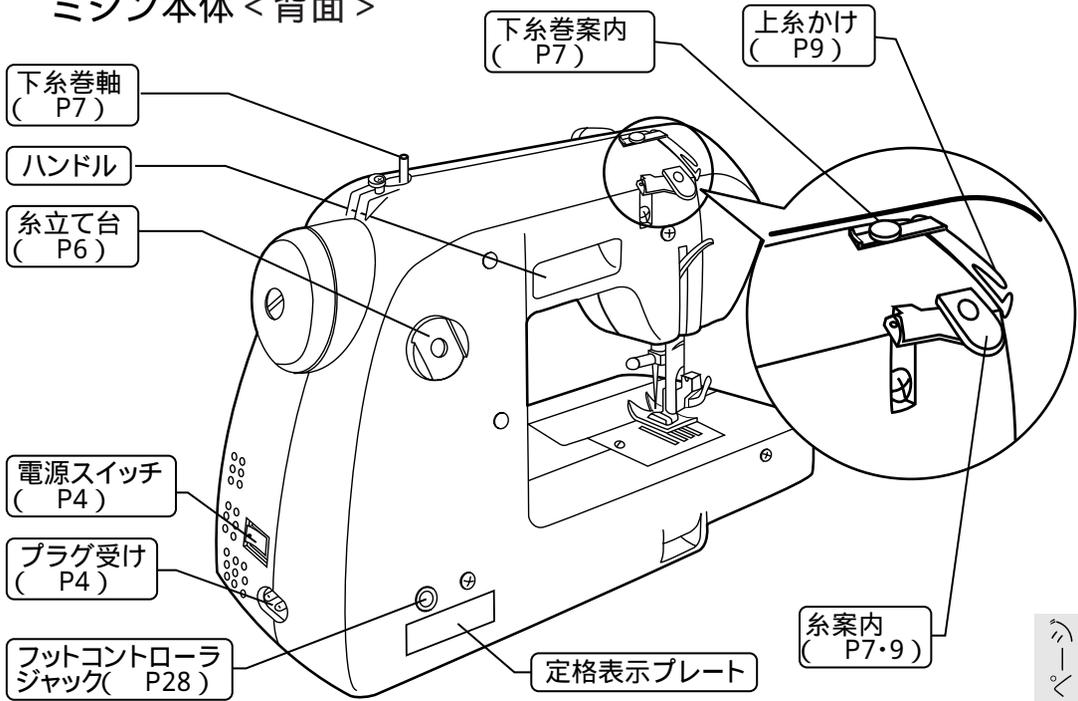


釜カバーの開きかた

補助テーブルを外してから釜カバーを手前に開きます。

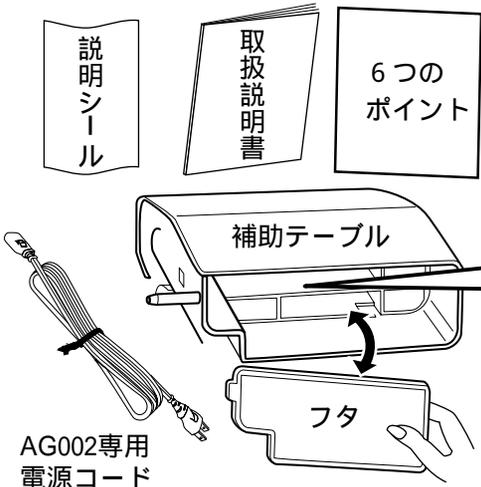


ミシン本体 < 背面 >

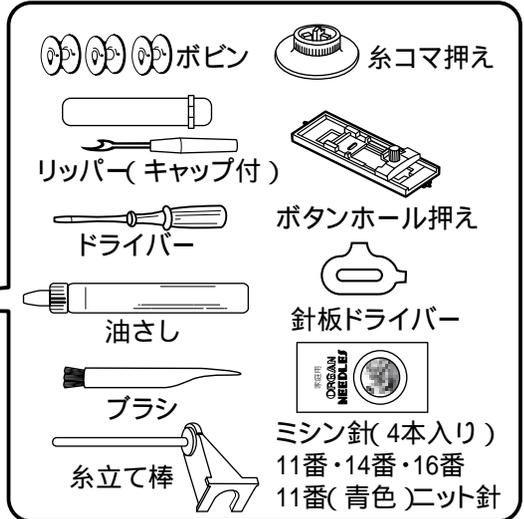


付属品

下記の他にミシンカバーが付属します。



補助テーブル内の付属品



付属品をお子さまが口に入れないように十分ご注意ください。

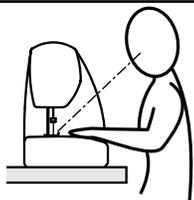
万一、油を飲んだ際には「鉱物油」である旨を伝えて医師の治療をお受け下さい。
針板ドライバーは針止めねじにも使用できます。

縫うための準備

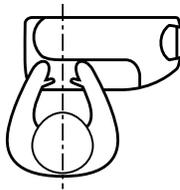
ミシンの設置

⚠注意：ミシンは安定した場所に置いてください。

⚠注意：はずみ車など回転する部品が露出していますので、ミシンの周りには十分なスペースをお取りください。



針先を無理なく見られる姿勢でご使用できるように設置してください。



針の中心と身体の中心が一致するように設置してください。

ミシンの動かし方

⚠危険：はずみ車と針のまわりには、手や物を置かないでください。

⚠注意：電源コードをミシンに差込む前には必ず電源スイッチを「切」にしてください。

⚠注意：停止するときは針が上で停止します。ミシンが完全に停止するまで、はずみ車と針に手を近づけないでください。

⚠注意：使用後は電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜いてください。

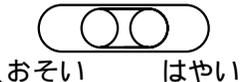
スタート/
ストップボタン

下糸巻軸

←左へ

電源スイッチ
「入」「切」

スピード調節ツマミ



プラグ受け

電源コード

家庭用交流電源
100V 50/60Hz

1. 下糸巻軸が左側にある事を確認します。
2. 電源コードをミシン本体のプラグ受けと家庭用電源に差込みます。
3. 電源スイッチを「入」にすると、照明ランプが点灯します。
4. ミシンを始動させる場合は、スタート/ストップボタンを指先で押しとミシンが動き始めます。
5. スピード調節ツマミを左から右に動かすと縫う速度が速くなり、右から左に動かすと縫う速度が遅くなります。裁縫中も縫う速度は自在に調節が出来ます。
6. ミシンを停止させる場合は、スタート/ストップボタンを押すとミシンが停止します。

針と糸と布の関係

きれいに縫うためには、下表を参考にして布に適した針と糸を使用してください。

上糸と下糸は同じ種類、同じ太さのものをお使いください。

針は家庭用ミシン針(HA×1)、糸は家庭用ミシン糸とご指定の上お買い求めください。

工場出荷時、ミシンには14番の針が付いています。(その他付属の針は3ページ参照)

布の種類		糸の番号	針の番号
薄地	薄地ジョーゼット、ポイル、タフタ、オーガンジー、絹布など。	綿 80~100 絹 60~80 化繊糸 80~100	9~11
普通地	さらさ木綿、薄手コーデュロイ、ピケ、ギンガム、リンネル、サテン、別珍、一般服地など。	綿 50~80 絹 50 化繊糸 50~80	11~14
厚地	ギャバジン、ツイード、キルティング、デニム、コーデュロイ、タオルなど。	綿 40~50 絹 50 化繊糸 50~60	16
伸縮性の生地	ダブルニット、トリコット、スパンデックス、ジャージなど。	綿 60 化繊糸 50~80 ニット用糸	ニット用針 11~14

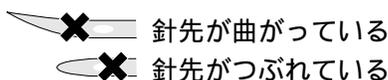
正しい針の選びかた

△危険：不良針を使うと、きれいに縫えないばかりでなく針板や釜にキズをつけたり針が折れてけがをする危険性があります。

正しい針

ガラス等の平らな面

不良針



針先が曲がっている

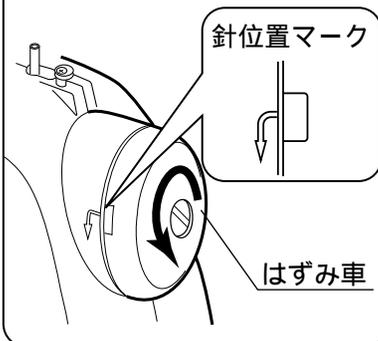
針先がつぶれている

針のとりかえかた

△危険：交換の際は必ずコンセントを抜いてください。

針の位置の合わせかた

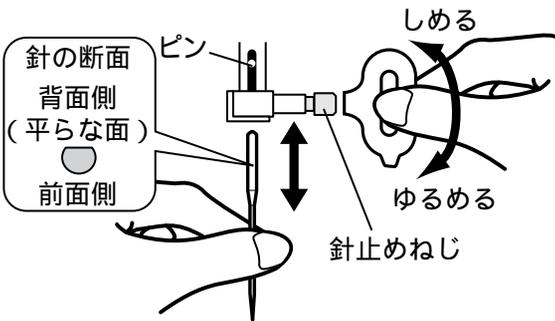
はずみ車を手前にまわして針位置マークを図のように合わせて針を上げます。



付属品の針板ドライバーをお使いください。

はずす：針を持ち、針止めねじをゆるめて針を下に引いてはずす。

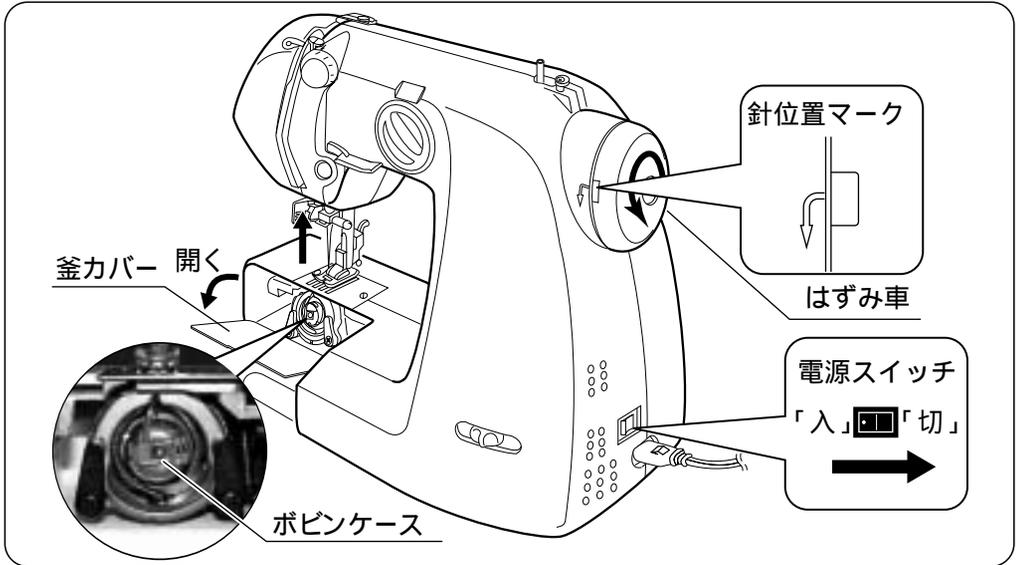
つける：平らな面を背面側にしてピンに当たるまで差込み、針止めねじをしめる。



縫うための準備

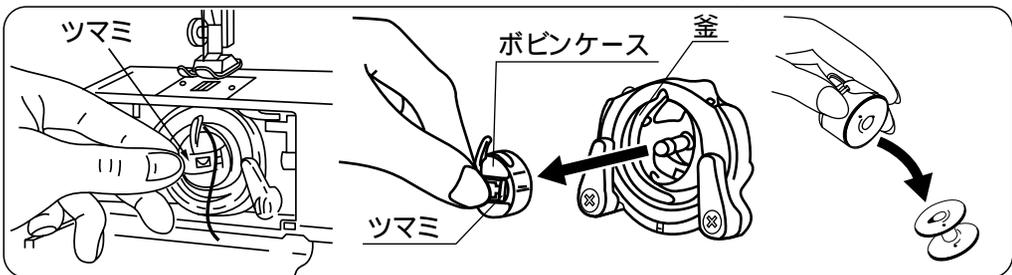
●ボビンケースの取り出しかた

- △注意：安全のため、作業の前には必ず電源スイッチを「切」にしてください。
- △注意：はずみ車を操作するときは針の下に手を置かないでください。



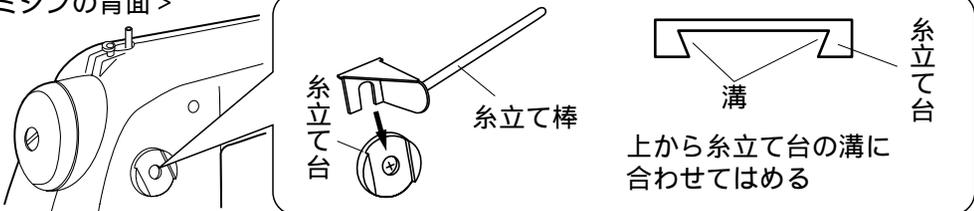
- 1: はずみ車を手前にまわして針位置マークを合わせ、針を上げます。
- 2: 補助テーブルをはずし、釜カバーを開きます。(2ページを参照)
- 3: ボビンケースのつまみをおこして持ちボビンケースを手前に引き出します。
- 4: つまみを閉じてボビンケースからボビンを取り出します。

ボビンケースのつまみを閉じないとボビンは取り出せません。



糸立て棒の取り付けかた 糸立て棒は補助テーブルの中に入っています。

<ミシンの背面>



下糸の巻きかた 糸コマ押えは補助テーブルの中に入っています。

△ 注意：はずみ車に糸がからまないように注意してください。

1 糸コマ (別売) を糸立て台側に 糸止めカット

2 穴に糸を通す

糸案内

後ろ側からの順序でかける

3 時計まわりに一度だけ巻きつける

ひっぱって皿の下に喰いこませる

下糸巻案内

4 ボビンの穴に糸を通し、下糸巻軸に差込みます。

ボビン

矢印の方向に寄せます。

下糸巻軸

5 上糸の端を持って、スタート/ストップボタンを押して巻き始めます。

巻き始めのスピードは「おそい」にしておきます。

6 少し巻いてからミシンを一度止め、ボビンの穴から出ている糸を切り、再びスタートします。スピードは「はやい」にしておきます。

少し巻いてから糸を切る

7 巻き終わるとボビンの回転が止まりますので、スタート/ストップボタンを押してミシンを止めます。

8 下糸巻軸を左に寄せたからボビンを引き抜きます。

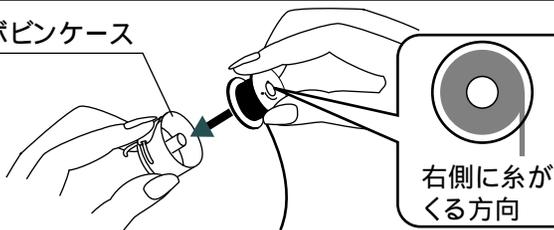
糸を切る

縫うための準備

ボビンケースにボビンを入れる

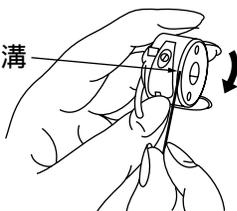
△注意：安全のため、作業の前には必ず電源スイッチを「切」にしてください。

- 1** ボビンから糸を10センチほど引き出してボビンケースの中に入れます。
(引き出した糸端が右側にくる方向に)



2

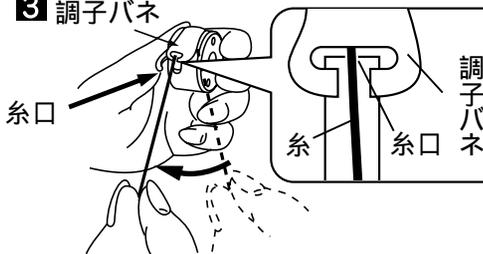
糸通し溝



ボビンの回転方向

糸の端を持ち糸通し溝に入れる。
糸を引っばったとき、ボビンは時計まわりに回転します。
ボビンがスムーズに回転しない場合はボビンケースが変形しているおそれがあります。

3 調子バネ



ボビンが回転しないように押さえながら糸を左へ引っばり、調子バネの下を滑らせて糸口から糸を出す。

ボビンケースを釜に入れる

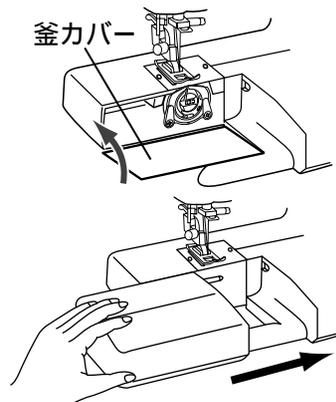
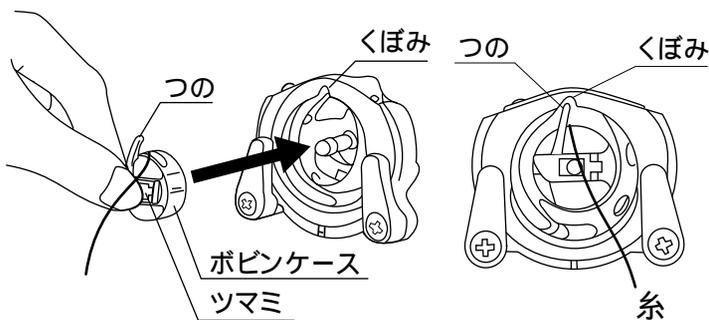


はずみ車の針位置マークを合わせて針を上げます。

ボビンケースのツマミをおこして持ち、つのがくぼみに入るように奥まで差込みます。

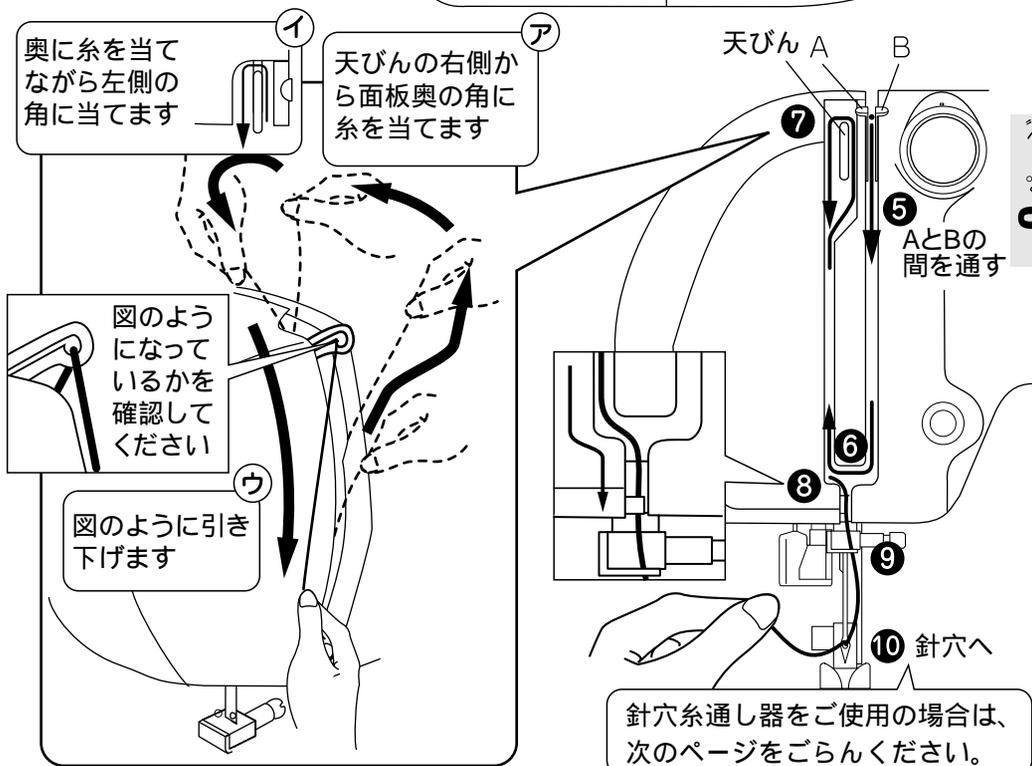
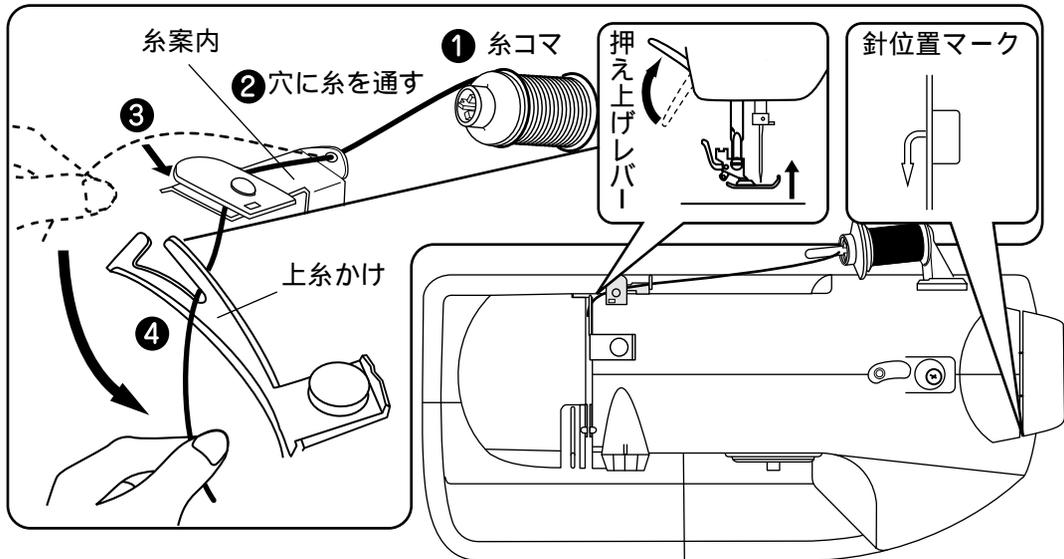
差込んだ後ツマミをばなし、糸を手前にたらししておきます。

釜カバーを閉め、補助テーブルを取り付けます。



上糸をかける

△注意：安全のため、作業の前には必ず電源スイッチを「切」にしてください。
 はずみ車の針位置マークを合わせて針を上げ、押え上げレバーで押えを上げておきます。



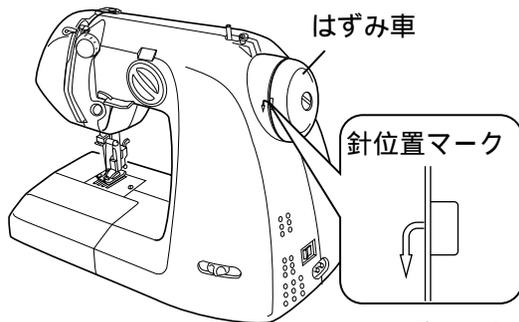
縫うための準備

針穴系通し器の使い方

はずみ車を回して針位置マークを合わせてください。

このとき針は上方に位置します
矢印の付近以外では糸通し器は正常に作動せず、故障の原因となるおそれがあります。

細い針や太い糸では糸通し器が使用できない場合があります。



ツマミが下げ止まる所まで引き降ろし
更に止まるまで回転させます
止まるまで回転させればツマミから手を離しても固定されます

糸通しフック

回転が止まる位置で針の穴に糸通しフックが通ります。

10ページ

針止め

ガイドA

ガイドB

針

ガイドB拡大図

針止めに糸を掛けてからガイドAに糸を掛けて...

ガイドBの面に沿って糸を針まで滑らせてから軽く手前に引けば糸通しフックに糸が掛かります。

手前に回して

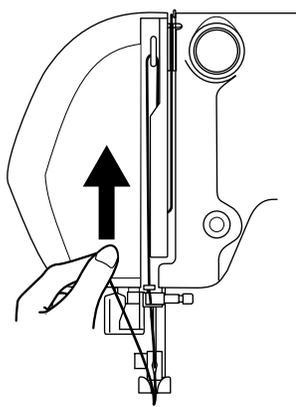
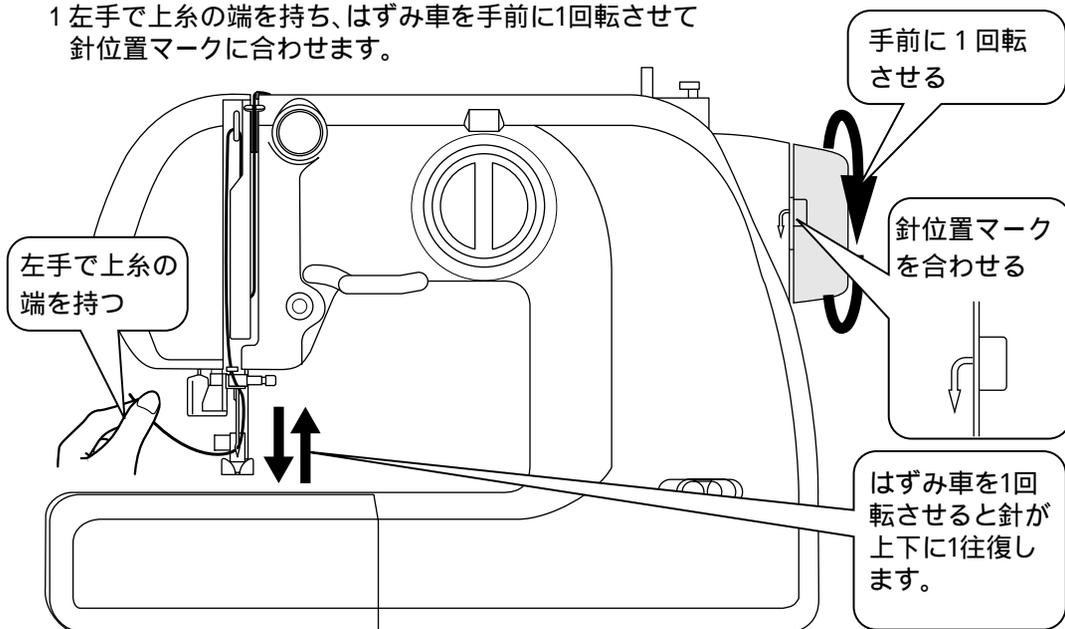
手を離せば糸が通ります。

針の後ろに出来た糸輪を引っぱって、糸を引き出します。

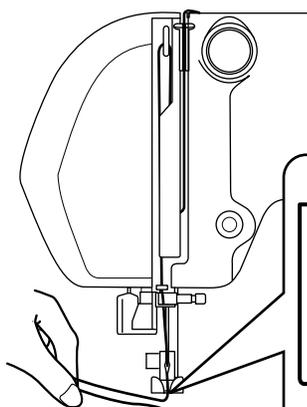
* 誤った使い方ではツマミが外れる事があります。外れた場合は軸のピンとツマミのミゾを合わせて差込んでください。

下糸を引き出す

1 左手で上糸の端を持ち、はずみ車を手前に1回転させて針位置マークに合わせます。



2 上糸を引き上げると下糸が引き出されます。
(1回上下させても下糸が出てこないときは、糸端を軽く引きながら再度はずみ車を手前に回してください)



3 上糸と下糸を揃えて持ち押えの下に通し、10センチほど引き出して後側にたらししておきます。

縫うための準備

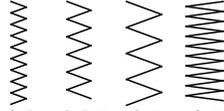
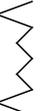
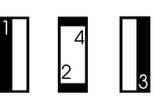
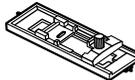
⚠危険 : 針を布にさした状態で模様選択ダイヤルをまわすと針が折れる危険性があり、けがなどの原因となりますので、必ず針は一番上にしておきます。

模様の紹介

縫い模様は模様選択ダイヤルをまわして選択します。

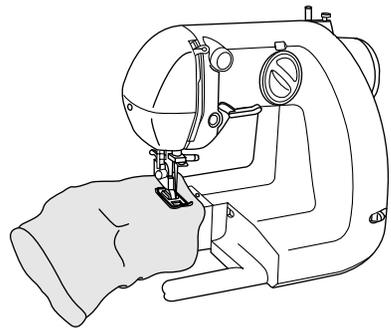
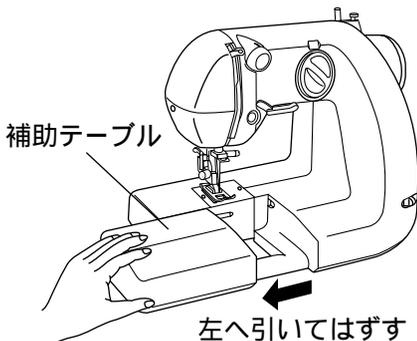
模様窓の中心に選択した模様の表示がくるようにダイヤルをセットします。

ダイヤルは左右どちらでも回転します。

縫い模様	 中基線	 巾2 巾3.5 巾5 巾5				
	直線縫い	ジグザグ縫い	三点ジグザグ縫い	まつり縫い	伸縮まつり縫い	ボタンホール縫い
窓の表示						
使用する押え	ミシンにそなえつけの押え(ジグザグ押え) 					ボタンホール押え 
ページ	15~16	17	18	19	20~21	

フリーアームの使いかた

袖付け、ズボンの裾上げなど筒形のものを縫うときは、補助テーブルをはずしてフリーアームとして使います



ためし縫い

布の切れ端を使ってきれいな裁縫が行えるかの確認です。

布は2枚重ねて縫ってください。

サビ発生防止のためミシン本体には少量の油を使用しており、まれに針や釜に油が付着して布や糸が汚れる場合があります。初めてご使用になる場合や永らくご使用にならなかった場合には、ためし縫いによる油の除去をおすすめします。

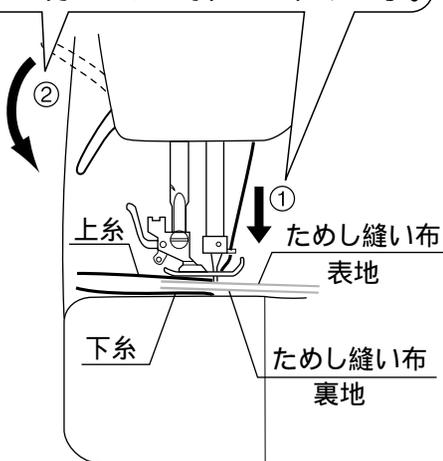
1 下糸巻軸が左にあるかを確認します。

模様選択ダイヤルをまわして裁縫する縫い模様を模様表示窓に表示させます
初めて扱う方は直線縫いにします。



2 布を押えの下に置き、はずみ車を手前にまわして縫い始める位置に針を刺してから、押え上げレバーを下げます。

針を刺してから押えを下げる事。



3 スタート/ストップボタンを押し、縫い始める

布に軽く手を添えます
押さえ過ぎないように注意

電源スイッチ
「入」「切」

ミシンの縫い速度に慣れるまでスピード調節ツマミを「おそい(左)側」にしておきます。

薄地を縫うときや布送りが悪い場合には、ハトロン紙などの紙を針板と布の間に敷くとスムーズに縫うことができます。

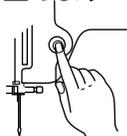
糸調子の確認とあわせかた

ためし縫い布を見て、縫い目を確認します。

(布・糸・縫い模様によっては随時糸調子の確認が必要です)

前項の続き

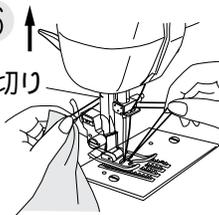
- 4 スタート/ストップボタンを押し、ミシンを止めます



- 5 はずみ車を手前にまわし針位置マークを合わせます。



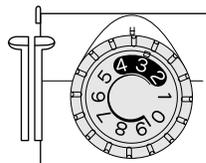
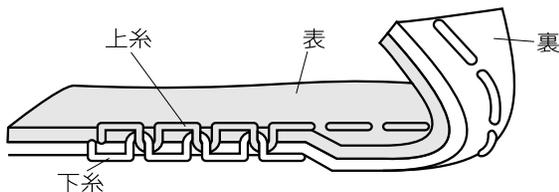
- 6 ↑ 糸切り



押え上げレバーを上げ、後ろに布を引き出します。上糸と下糸を糸切りにかけて切ります。

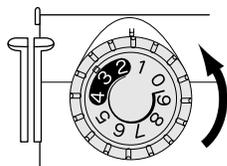
糸調子が正しいとき

上糸と下糸が布の中間で交差し、糸のたるみ、布縮みのない状態



上糸が強いとき

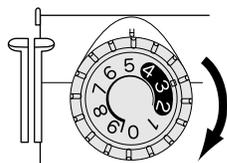
下糸が表に引き出されます



数字の小さい方へまわす

上糸が弱いとき

上糸が裏に引き出されます



数字の大きい方へまわす

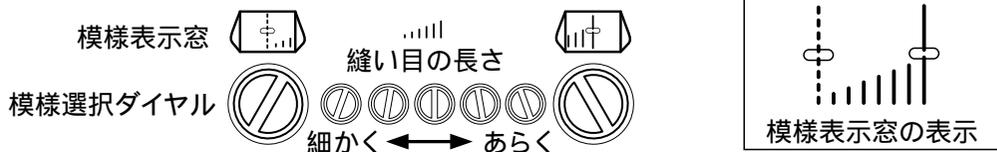
布の裏側の糸がタオル地のようなのは



布の裏側がタオル地のようなになってしまうのは、上糸調子が弱いか、押え上げレバーが上のままか、上糸が正しくかけられていないかです。確認してみてください。

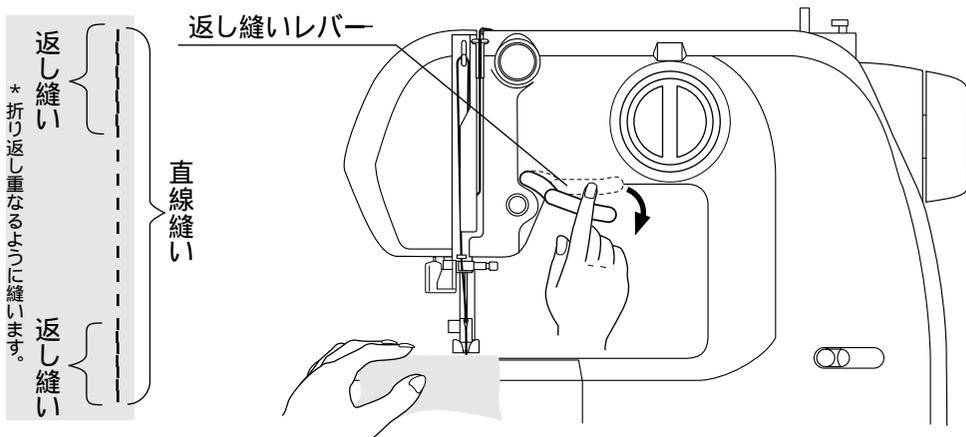
直線縫い

操作方法は、縫ってみる(基本編)13~14ページと同じです。
縫いかたに応じた縫い目の長さが右図の範囲で自由に合わせられます。



返し縫い

縫い目がほつれないように、縫い始めと縫い終わりに返し縫いをします。



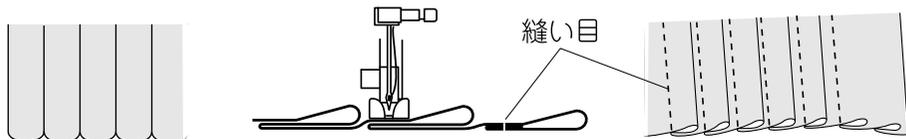
マシンが動いている状態で返し縫いレバーを押し下げている間は返し縫いができます。
レバーを下げてても返し縫いしない領域(遊び)がありますので、更に下に押し下げてください。(遊びの量は縫い模様によって変化します)

⚠危険：返し縫いで縫い始めるとき、針先が少しだけ布に刺さった状態では針が折れるおそれがありますのでご注意ください。

(応用編)ピンタック

ブラウスなどの装飾に使います。

- 1 アイロンでピンタックの折り山をそろえます。
- 2 折り山を伸ばさないようにしながら、ピンタックを縫います。
- 3 アイロンで片側におします。



縫い方向のかえかた

①

次
に
縫
う
方
向

手
で
は
ず
み
車
を
ま
わ
し
て
縫
い
進
め
る

方
向
を
変
え
た
い
場
所
の
1
セ
ン
チ
手
前
ま
で
き
た
ら
ミ
シ
ン
を
止
め、
は
ず
み
車
を
手
前
に
ま
わ
し
て
方
向
を
変
え
た
い
と
こ
ろ
ま
で
縫
い
進
み、
針
が
布
に
刺
さ
つ
た
状
態
に
し
ま
す。

②

は
ず
み
車
を
手
前
に
ま
わ
し
針
を
一
番
下
ま
で
下
げ
て
か
ら、
針
を
刺
し
た
ま
ま
押
え
を
上
げ
ま
す。

③

針
を
軸
に
し
て
縫
う
方
向
に
布
を
ま
わ
す

縫
う
前
に
押
え
を
下
ろ
す

針
を
軸
と
し
て
縫
う
方
向
に
布
を
ま
わ
し、
押
え
を
下
げ
て
か
ら
縫
い
始
め
ま
す。

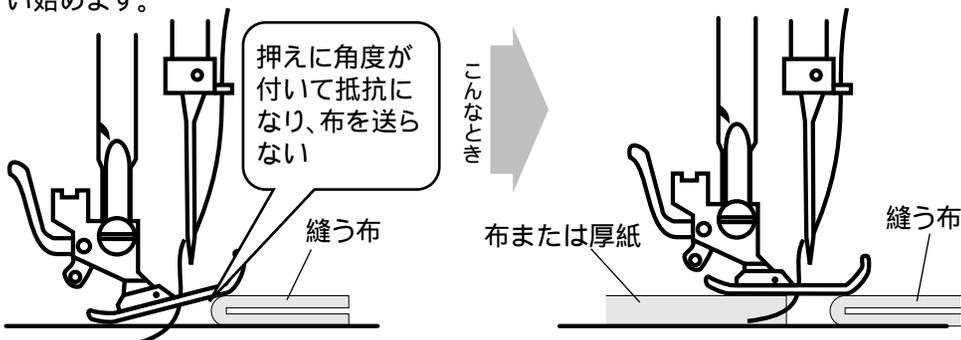
縫うときは必ず押えを下げてください。

段縫い

布地を重ねて厚くなった部分を縫うときは、手で布の送りを助けながら縫います。

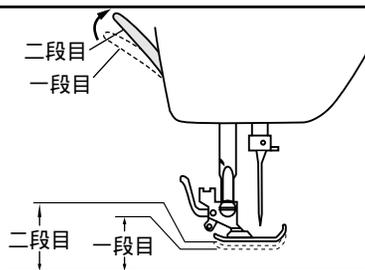
厚地の縫い始め

厚地の布を布端から縫い始めるときに押えが傾いてスムーズに縫えないことがあります。このようなときは押えの下に布と同じ厚さの厚紙などをあてがって縫い始めます。



押え上げレバーの操作

押えの高さは一段目で止まります。二段目まで上げることができますが手を離すと一段目の位置に戻ります。押え上げレバーを下ろした時に一段目の高さを超えない程度の厚みで縫うようにしてください。

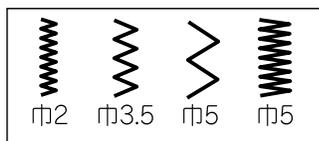


⚠️危険：布を押し込んだり無理に引き出したりすると、針が折れるおそれがあり、けがの原因になります。

ジグザグ縫い

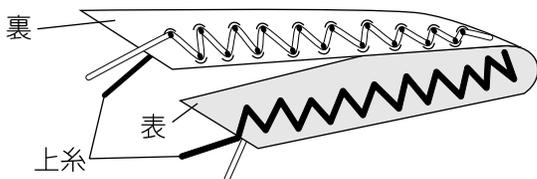
操作方法は、縫ってみる(基本編)13~14ページと同じです。

縫いかたに応じた4種類のジグザグ縫いができます。

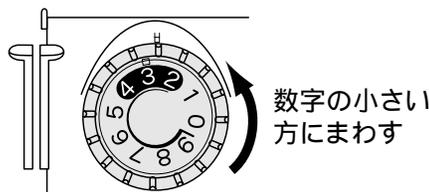


模様表示窓の表示

ジグザグ縫いの糸調子は...



布の裏側に上糸が少し出るように
上糸調節をする。

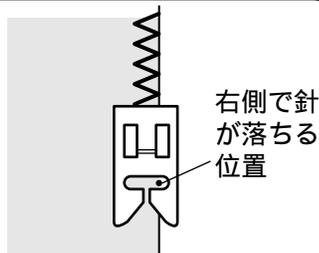


直線縫いよりも上糸調子をやや弱めにする

縁かがり(裁ち目かがり)

ジグザグ縫いの選択は、形や大きさに応じて
選びましょう。

縫いかた：はずみ車を手前にまわして針が右にきた
とき、布端より少しはずれるように布を
置き、押え上げレバーを下げます。

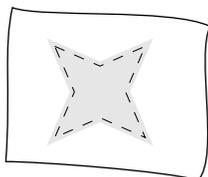


アップリケ

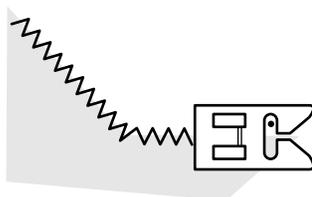
市販や自作のアップリケ布を別の布の上に縫いつけます。

ジグザグ縫いの選択は、形や大きさに応じて選びましょう。

1.アップリケ布を布に
しつけるか、布用ボ
ンドで軽く止めます。



2.アップリケ布のまわ
りをジグザグ縫い
で縫いつけます。



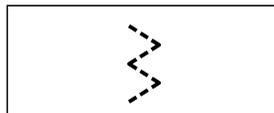
縫い方向をかえる
場合はアップリケ
布の外側に針を落
とし、押え上げレバ
ーを上げてから布
をまわします。

点線ジグザグ縫い

操作方法は、縫ってみる(基本編)13~14ページと同じです。

ジャージやトリコットなど伸縮性のある布の裁縫に適したジグザグ縫いです。

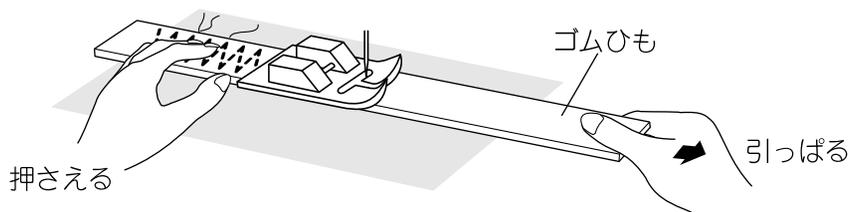
布が伸びても縫い糸の切れる心配がありません。ゴムひもの縫い付けや、伸縮性布地のふちかがりなどにも利用します。



模様表示窓の表示

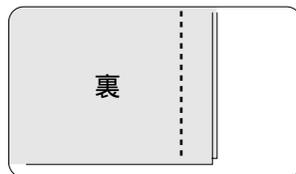
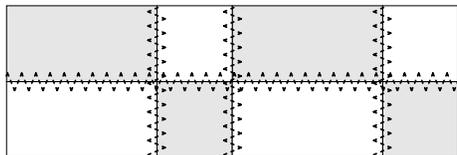
ゴムひもの縫いつけかた

- 1 ゴムひもは出来上がり寸法 + 縫いしろ(2センチ程)の長さ分を用意します。
- 2 縫い始めが押えの後側に出てきたら、ゴムひもを引っ張りながら縫っていきます。

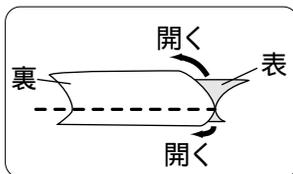


パッチワーク

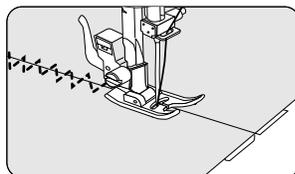
いろいろな布をつなぎ合わせ、装飾に用います。



二枚の布を中表に直線縫いで縫い合わせをします。



縫いしろを開きます。



両方の布に模様がまたがるようにして縫います。

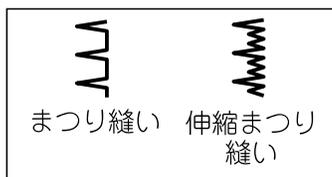
まつり縫い (ブラインドステッチ)

操作法は、縫ってみる (基本編)

13~14ページと同じです。

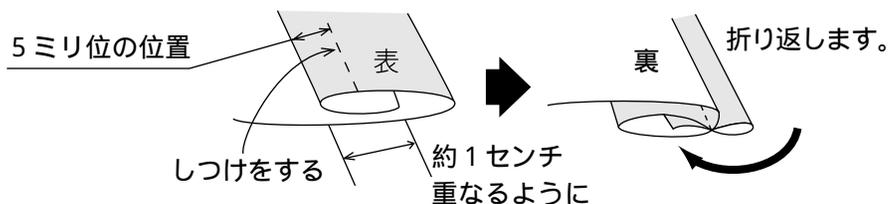
布の表面に目立たない縫い目を作る縫いかたです。

ズボンやスカートの裾、袖口の裁縫に用います。服の丈直しなどにもご利用いただけます。

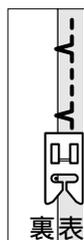
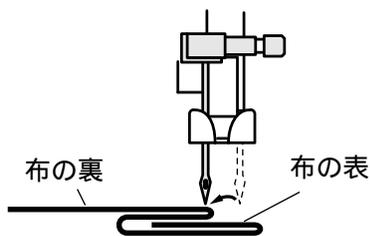


模様表示窓の表示

1 布を図のように折り、しつけをします。

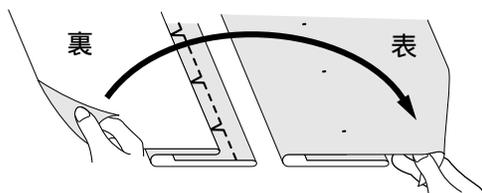


2 はずみ車を手前にまわして針が左側きたときに、布の折り山にわずかに針がかかるよう、布の位置を合わせて縫います。

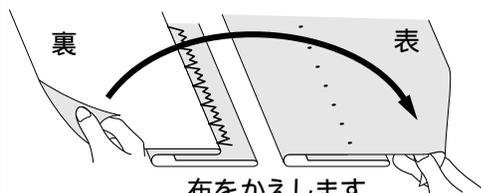


縫い上がり後の布の裏表を間違えないように注意してください。

3 布を返し、しつけ糸を抜きます。



伸縮まつり縫い



布をかえします。

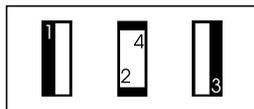
▲▲ の模様は伸縮性の布に適しております。

ボタンホールかがり

操作法は、縫ってみる(基本編)13~14ページと同じです。

ボタンの大きさに応じたボタンホールができます。

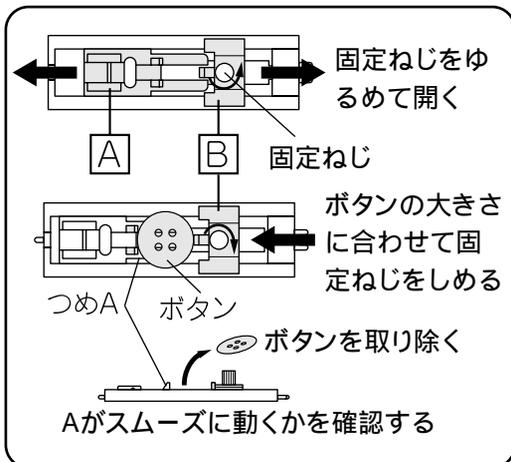
(押えは付属品のボタンホール押えを使います)



模様表示

ボタンホール押えのつかいかた

- 1.A・Bを両側に移動させます。
(Bの固定ねじは少しゆるめておきます)
- 2.ボタンホールが必要なボタンを「つまA」の前に置きます
- 3.Bを動かしてボタンを挟み込み、固定ねじを軽く締め付けて固定します。
- 4.ボタンを取り除き、Aがスムーズに動くかを確認します
- 5.ミシンの押えをはずし、ボタンホール押えを取り付けます。(下記参照)
B側の固定ねじでセットしたところがボタンホール縫いの可動範囲となります。



鉛筆かチャコペンで布にボタンホールの位置と大きさをマークしてください。

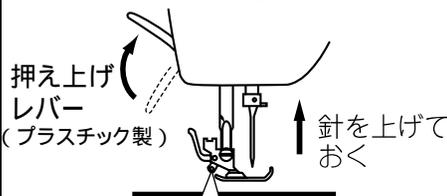
適正なボタンホールの大きさを決めるため、布切れで試縫いしてください。

極薄の布や化繊布を縫うときは、布の裏に薄い紙を一枚あてるとゆがみが防げます。

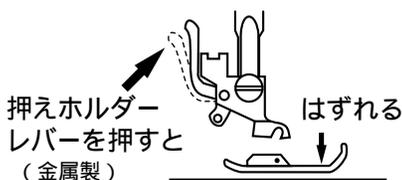
押えの交換

はずしかた

- 1.押え上げレバーを上げる

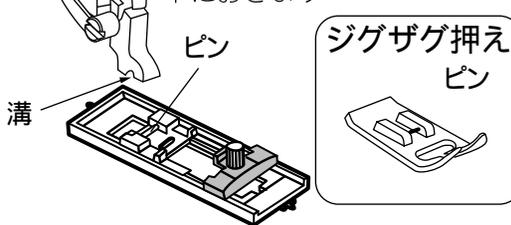


- 2.押えホルダーレバーを押してはずします

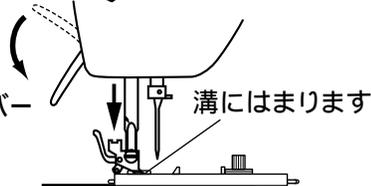


付けた

押えのピンを溝の真下におきます

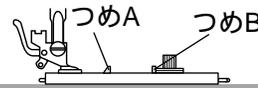
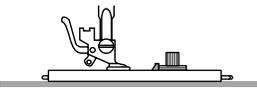
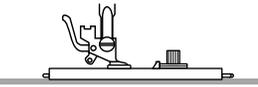
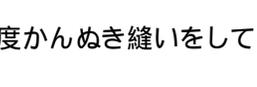
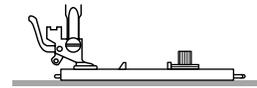
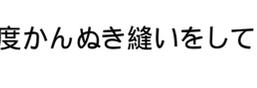


押え上げレバーを下げる



押えを取り付けたときは、押え上げレバーを上下させ、押えが確実に取り付けいたかを確認してください。

ボタンホールの縫いかた 針を上げてから模様選択ダイヤルをまわします。

1	<p>上糸の端を持ち、ゆっくり縫い始めます。</p> 	<p>つめBがつめAと並んだらミシンを止めます。</p> 
4 2		<p>ミシンを動かし5針程度かんぬき縫いをしてミシンを止めます。</p> 
3	<p>縫い始めの位置までゆっくりと縫います。</p> 	<p>縫い始めの位置まできたらミシンを止めます。</p> 
4 2		<p>ミシンを動かし5針程度かんぬき縫いをしてミシンを止めます。</p> 

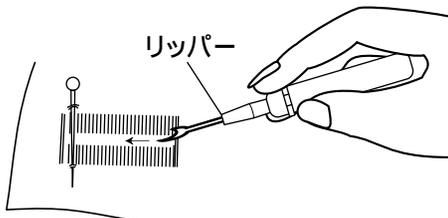
より強度のあるボタンホールにするときには、もう一度同じ行程をくり返してください。

仕上げ

縫い終わったら布を引き出して糸を切り、付属のリッパーで縫い目を切らないようにボタン穴を切り開きます。

⚠ 注意：ケガ防止のために

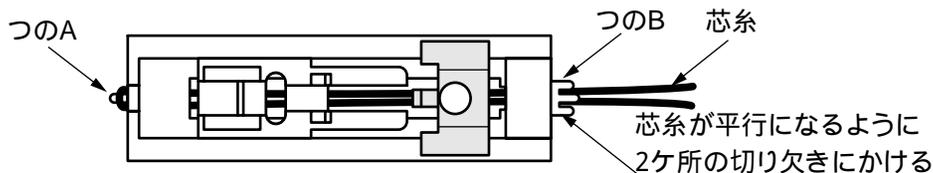
リッパーで穴を切り開くとき、リッパーの先端に手や指を置かないでください。



芯入りボタンホール

伸縮性のある布や、丈夫なボタンホールにしたいとき

芯糸をボタンホール押えの「つのA」に引っ掛けて押えの下から手前に引き、よじれないように引っぱりながら「つのB」に固定します。



縫い終わったら芯糸を押えのつのからはずして布を引き出し、右図のように芯糸の両端を引いてたるみをなくし、余分な芯糸を切ります。



お手入れ

⚠危険：お手入れの際は、必ずコンセントからプラグを抜いてください。

釜の掃除と注油

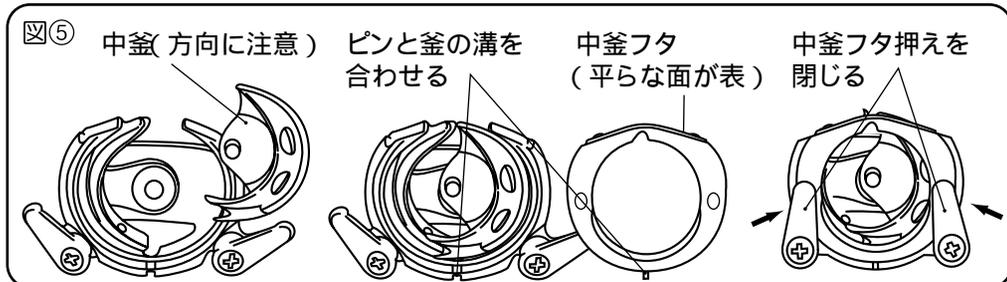
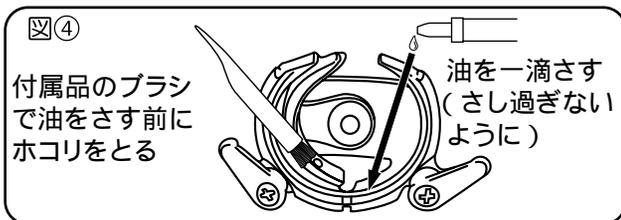
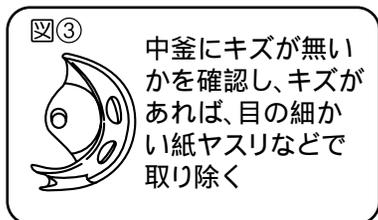
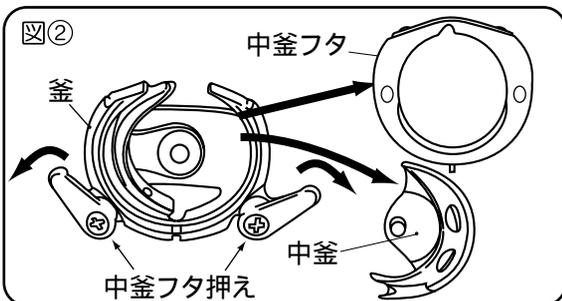
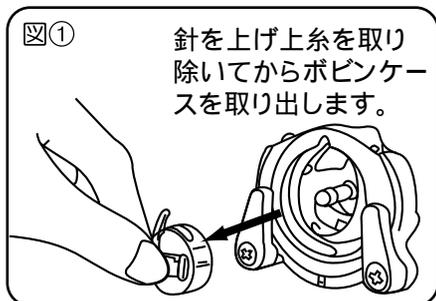
釜の中に糸くずやホコリがたまるとミシンの回転が重くなります。

次の手順で月一回程度の頻度で掃除をしてください。

注油する油は付属の油か市販の「ミシン油」をご使用ください。その他の油をご使用になるとミシンが壊れます。

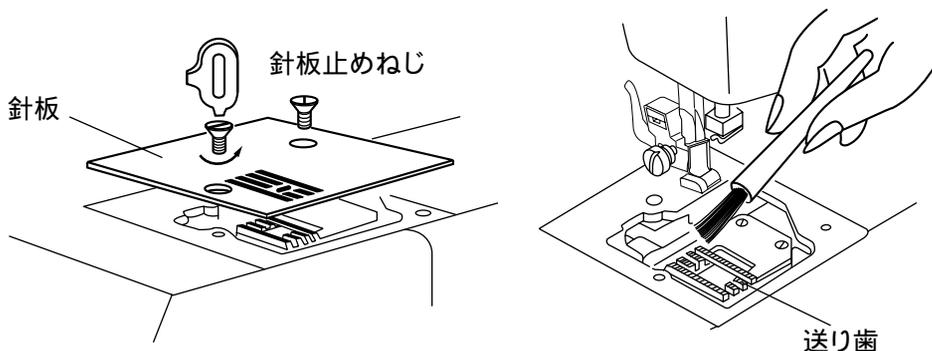
スプレー式の浸透潤滑剤は使用しないでください。外装のプラスチックが割れるおそれがあります。

1. はずみ車を手前にまわして針位置マークを合わせ、針を上げます。
2. 糸コマをはずして上糸を取り除きます。
3. 釜カバーを開き、ポピンケースのつまみを持ってポピンケースを取り出します。(図①参照)
4. 中釜フタ押えを左右に開き、中釜フタ、中釜の順で取り出します。(図②参照)
5. 中釜にキズなどが無いかを確認し、キズがある場合は目の細かい紙ヤスリで取り除いてください。(図③参照)
6. 釜のまわりの糸くずやほこりを付属のブラシで取り除き、図で指示したところに付属の油さして油を一滴さしておきます。(図④参照)
7. 取り付けるときは、方向に注意して中釜、中釜フタの順番で取り付け、中釜フタ押えを閉じて固定します。(図⑤参照)



送り歯の掃除

送り歯や針板にホコリがたまると、布送りが悪くなることがあります。
ときどき針板をはずしてブラシなどで取り除いてください。



ランプの交換

⚠ 注意

- ・ランプの交換の際には、必ずコンセントからプラグを抜いてください。
- ・ミシンを使用直後はランプが熱くなっていますので、やけどをするおそれがあります。十分に冷えてから交換してください。
- ・ランプは割れ物のため、取り扱いには十分ご注意ください。

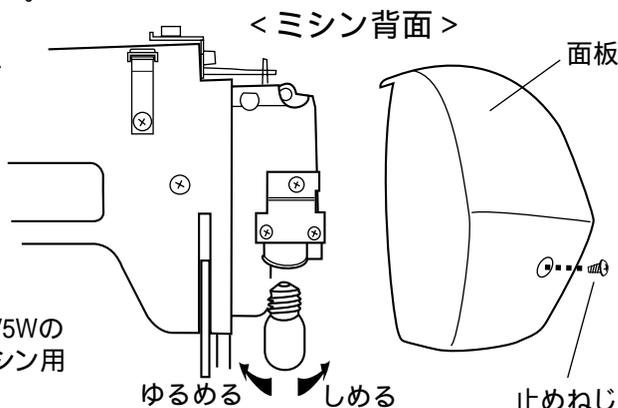
ランプは面板内部に内蔵されています。

面板の取りはずしと取り付けには軸径5ミリ程度のプラスドライバーをご使用ください。
(小さいドライバーではねじをつぶします)

針には十分ご注意ください。

1. 止めねじをはずして面板をはずします。
2. ランプを左へまわしてはずします。
3. 取り付けるときは右へまわして奥までしめます。

注：使用するランプは100V5Wの口径12ミリ(E12)のミシン用ランプに限ります。



こまったときは

ミシンの調子が悪い場合は、まず次のことを確かめましょう。

なぜ……？	ここをお調べください	参 照 ペー ジ
ミシンが動かない	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 電源コードが正しく接続されていますか？ ▶ 電源スイッチ・スタート/ストップボタンをもう一度押し直してください ▶ 下糸巻軸が右側になっていませんか？ ▶ 釜に糸がからみついていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 4 ▶ 4 ▶ 4 ▶ 22
音がうるさい 回転が遅い	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 釜の油が切れています ▶ 釜の内部に糸くずがたまっていますか？ ▶ 送り歯にゴミがたまっていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 22 ▶ 22 ▶ 23
針が折れてしまう	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 布を無理に引っばっていませんか？ ▶ 針の取り付けかたは正しいですか？ ▶ 上糸の調子が強すぎませんか？ ▶ 針と糸と布の関係は？ 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 13・16 ▶ 5 ▶ 14 ▶ 5
上糸がからまる	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 上糸のかけかたは正しいですか？ ▶ 上糸調節はしましたか？ ▶ 押えが下がっていますか？ ▶ ボビンケースが正しくセットされていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 9 ▶ 14 ▶ 13 ▶ 8
上糸が切れる	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 上糸のかけかたは正しいですか？ ▶ 上糸調節はしましたか？ ▶ 針の取り付けかたは正しいですか？ ▶ 針と糸と布の関係は？ 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 9 ▶ 14 ▶ 5 ▶ 5
下糸が切れる	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ボビンのセットは正しいですか？ ▶ 釜に糸が、からみついていませんか？ ▶ ボビンケースへボビンが正しくセットされていますか？ ▶ 針が折れた場合は中釜にキズが無いかを確認してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 8 ▶ 22 ▶ 8 ▶ 22

なぜ……？

ここをお調べください

参 照
ペ ージ

<p>布を 送らない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・送り歯にゴミがたまっていますか？ ・模様を選択は正しいですか？ ・布を引っ張っていませんか？ 	<p>▶ 22 ▶ 12 ▶ 13・16</p>
<p>縫い目が とぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・上糸のかけかたは正しいですか？ ・針の取り付けかたは正しいですか？ ・針と糸と布の関係は？ ・針が曲がっている 	<p>▶ 9 ▶ 5 ▶ 5 ▶ 5</p>
<p>縫い目に 輪ができる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・上糸のかけかたは正しいですか？ ・上糸調節はしましたか？ ・ポピンケースが正しくセットされていますか？ 	<p>▶ 9 ▶ 14 ▶ 8</p>
<p>縫い目に しわがよる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・上糸のかけかたは正しいですか？ ・上糸の調子が強すぎます ・ポピンケースが正しくセットされていますか？ ・針と糸と布の関係は？ 	<p>▶ 9 ▶ 14 ▶ 8 ▶ 5</p>
<p>布の裏側が タオル地の ようになる (14ページ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・上糸のかけかたは正しいですか？ ・上糸調節ダイヤルの目盛りが"0"になっていませんか？ ・押えが下がっていますか？ 	<p>▶ 9 ▶ 14 ▶ 13・14</p>

この項に記載されている項目以外の不調、または部品の交換、電気系統の故障の修理サービスは、ご購入店または「お客様相談係」におたずねください。

*** 不具合が出た場合は、もう一度説明書の最初の手順からやり直してみてください。**

上糸調節ダイヤルだけで糸調子が合わない場合は、ポピンケースの調節ねじで糸調子を調節することができますが、調節は非常に繊細ですので、慣れた方以外は行わないようにしてください。
ドライバーで調節するときは1/3回転以上回さないでください。



ミシンの仕様

型式	AG-002 N
定格電圧	100V
消費電力	50W (ランプ 5W含む)
周波数	50Hz/60Hz
ランプ定格	5W100V □径12mm
寸法	幅：38.8cm×奥行：17.5cm×高さ：28cm
重量	5.4kg
専用電源コード	コード長さ2m
専用別売り フットコントローラー	4C-333A

【販売者】

株式会社 **カタログハウス**

〒151-0053東京都渋谷区代々木2-12-2

商品ご説明課  0120-701-567

【製造者】

 株式会社 **アックス ヤマザキ**

〒544-0022大阪市生野区舍利寺3-12-5

TEL 06-6717-5851

サ - ビス工場のご案内

ご購入いただきましたミシンは、下記の工場にて点検修理、交換等のサービスを行います。

尚、サービスには有償と無償の場合がありますので、別掲の各地区にある「お客様相談係」にお問い合わせの上、サービス工場にご送付ください。

***ご送付のときは、このミシンの箱と緩衝材に収納してください。**

送付先 〒544-0022 大阪市生野区舍利寺3-12-5

TEL 06-6717-5851

(月～金 午前9:00～12:00 午後1:00～5:00)

(土曜・日曜・祭日 休み)

(株)アックスヤマザキ

サービス係 行

修理サービス要領

修理サービスのご相談

- 1.このミシンのご購入者には、ご購入店から1年間の「無料修理保証書」が発行されます。
内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 2.修理サービスは無料保証期間内および期間経過後も原則としてご購入店が承りますので、ご相談ください。
- 3.修理サービスについてお問い合わせやご不審のある場合は、ご購入店または、お客様相談係へお申しつけください。

修理用部品の保存と供給

動力伝達機能部品および縫製機能部品のうち、交換修理に必要な部品は、ご購入の日から通常8年間は必要に応じて当社よりご購入店に供給できる体制を整えております。

無料修理保証期間後の修理サービス

- 1.取扱説明書に基づいて、正しいご使用とお手入れがされていれば、無料修理保証期間を経過しても修理用部品の供給可能期間中は、ご購入店を通じて有料で修理サービスいたします。
ただし、次に該当する場合は、有料でも修理できない場合がありますので、ご購入店にご相談ください。
イ.保存上の不備または、誤使用により不調、故障または損傷したとき。
ロ.浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
ハ.ご購入後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
ニ.ご購入店または当社の指定する販売店あるいはサ・ピス店以外で修理、分解または改造したために不調、故障または損傷したとき。
- 2.長期間にわたってご使用されたミシンの精度の劣化は修理によって元通りに修復できないことがあります。
- 3.有料修理サービスの場合の費用は、別に定める必要部品代金、交通費および技術料金の合計額となります。

お問い合わせ お客様相談係（お客様通話無料）

●東日本地区

☎0120-200-600

（午前10：00～午後5：00 水曜休み）

石田株式会社

〒166-0002

東京都杉並区高円寺北2丁目37番10号

●西日本地区

☎0120-555-564

（午前9：00～午後5：00 土曜・日曜・祭日 休み）

株式会社 アックス ヤマザキ

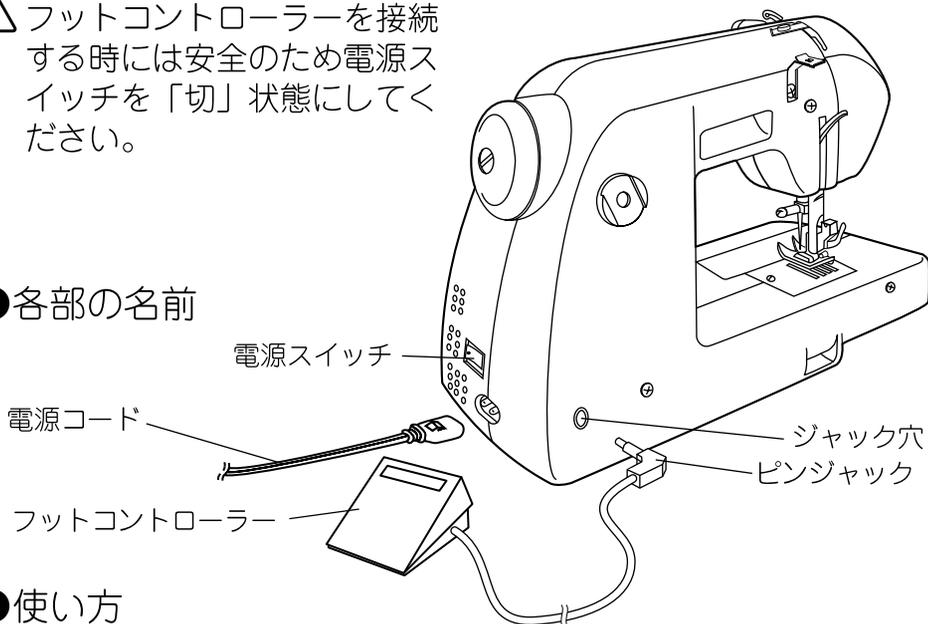
〒544-0022

大阪市生野区舍利寺3丁目12番5号

別売りフットコントローラーの使い方

- ⚠ このマークの注意事項を守らない場合、感電、火災、けがなどの原因となります。
- ⚠ 最初に取り扱説明書をよく読み、ミシン本体の操作を充分理解しておいてください。
- ⚠ フットコントローラーの上に、物をのせないでください。
- ⚠ フットコントローラーを接続する時には安全のため電源スイッチを「切」状態にしてください。

●各部の名前



●使い方

- ⚠ スタート・ストップボタンは使用いたしません。
- ⚠ フットコントローラーを使わない時は本体から外してください。

- 1) ピンジャックをジャック穴に奥まで確実に差込みます。
- 2) 電源コードを接続し、電源スイッチを「入」状態にします。
- 3) フットコントローラーを踏み込んでゆくと、ミシンが動き始めます。
- 4) 踏み込むほどミシンのスピードが速くなります。
- 5) 踏み込むのをやめるとミシンが停止し針が上で止まります。

★本体のスピード調節つまみでフットコントローラーを踏み込んだ時の最高速度を制限できます。

■フットコントローラーのご購入方法

本機専用フットコントローラー(3,500円 送料350円)のご注文は、下記で承っております。

(株)カタログハウス
受注センター
TEL 0120-164-164
FAX 0120-611-311

受付時間 月～金 午前9:00～午後6:00
土 午前9:00～午後4:00
(日曜・祭日休み)

純正指定部品のご案内

■純正オプション部品

このミシンでは一般的な家庭用ミシン部品が使用可能ですが、市販部品にはこのミシンに適合しない部品もございますので、お求めの際には純正部品のご購入をお勧めいたします。

ファスナーつけ押さえ
価格¥210(税込) 送料¥80



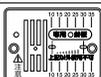
ファスナーを取り付ける際に便利です。
*コンシールタイプは下記までお問い合わせください。

縁かがり押さえ
価格¥199(税込) 送料¥80



縁かがりの際に幅を一定させるのに便利です。

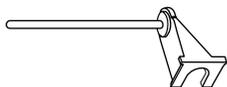
直線縫いセット
価格¥1,050(税込) 送料¥120



軟らかい生地などでも安定した直線縫い目になります。

■純正補充部品

糸立て棒
価格¥252(税込)
送料¥120



糸コマ押さえ
価格¥94(税込)
送料¥120



AG-002専用
電源コード
価格¥840(税込)
送料¥160



当社でお求めの際には、
「AG-002用」とご指定ください。

付属説明シール
価格¥105(税込)
送料¥80



■以下の部品は手芸店等でもお求めになれます

針パック(＃11＃14＃16ニット用＃11)
価格¥210(税込)送料¥80

当社以外でご購入の際には家庭用ミシン針HA-1タイプをご指定ください(一般的な家庭用です)



下糸ポピン(10個)
価格¥420(税込)送料¥120



当社以外でご購入の際には家庭用ミシンポピンHAタイプ(樹脂製)をご指定ください。(一般的な家庭用ですが、他社製品用ではお使いになれないものもあります。適合性は下記へお問い合わせください)

- ★手芸店等でお求めの際は現在使用中の物をお店に持参するのが良いでしょう。
- ★上記の部品はカタログハウスでの販売、お問い合わせは受け付けておりません。
- ★その他の部品についても下記部品請求係までお問い合わせください。

■ご購入方法

郵便局にて郵便振替でお客さまの氏名、住所、電話番号を明記し、通信欄にお求めになる部品の名前、ミシンの型式(AG-002)、ミシン背面に貼付した機械番号票の番号をお書き添えの上、部品価格と送料を下記口座までお振り込みください。お振り込み確認後発送いたします。

振り込み先 □座番号 00970-7-39524

□座名 (株)アックスヤマザキ

※振り込み手数料はお客様でご負担願います。

■部品請求のお問合せ先

※2点以上のお求めの際の送料等のお問合せは下記までお問合せください。

〒544-0022 大阪市生野区舍利寺3-12-5

TEL06-6717-5851(月~金 9:00~17:00)

(土曜・日曜・祭日 休み)

(株)アックスヤマザキ AG-002 部品請求係 行